

## 渡辺さんに尊厳死の意義を学ぶ

無職 松根 敦子 読んでいました。

(神奈川県 81)

渡辺淳一先生が亡くなられました。男女の性愛について作品が人気ですが、私は1978年に出版された「神々の夕映え」によって、人生が定まりました。

私は「生あるものは滅する」という大自然の中で生きていくもの、最期の選択は大切な問題とと思いました。

この小説は、患者の人生の終末期にどう対応するべきかという医療従事者の悩みが描かれていました。外国では、

後、渡辺先生は私たちの尊厳死の運動にもご協力下さり、講演会の講師も引き受けて下さいました。

患者の最期について本人の意思を尊重する運動があること、その立法化のための動きがあることなどが取り上げら

私の人生に宝を与えて下さった渡辺先生に、万感の思いを込めて、ご冥福をお祈り申し上げます。